

## 第1学年 英語科学習指導案

1年3組 男子 23名 女子 17名 計 40名

指導者 中川 拓也

【授業】 13:10~14:00 会場 1年3組(2階)

【協議会】 14:15~15:25 会場 1年3組(2階)

1 題材名 Our Project 1 あなたの知らない私 *SUNSHINE English course 1*

### 2 題材について

#### (1) 題材設定の趣旨

本題材では、相手の知らない自分を紹介するというテーマに沿って自己紹介を行う。自己紹介の目的は、初対面同士での人間関係構築のきっかけをつくることにある。自分の生い立ちや趣味、好きな人物等、より私的な情報を相手に開示することで、お互いの距離を縮め、人間関係をさらに深めるきっかけとなる。

本授業づくりにおいては、学習指導要領に定める、1目標(3)話すこと[やり取り]ア[日常的話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。]を目標とし、マッピングを用いながら伝えたい自分の情報や中学校生活でがんばりたいことを精選する。そして初対面の相手に対して自己紹介をする際には、何を伝えればよいかやどのような表現を用いれば相手により理解してもらえるかを生徒同士のやり取りを通して考えさせ、簡単な質問を英語でするなど生徒たちのやり取りが実際に普段行われているやり取りに近づくよう指導したい。

言語材料としてはbe動詞について学び、また一般動詞に関しても肯定文・否定文・疑問文等の表現を学習してきた。本題材は自己紹介という比較的自由に話題を設定することができ、自分の興味関心のあることに関して幅広く話せる課題である。また、主語に紹介したい人物や物を置き、それに関わる事柄について詳しく発話させることによって、聞き手を意識しながら相手に関心をもつような情報を伝えられるようにさせたい。

第1学年の前期では、本校で定めたCAN-DOリストにもある「内容面のつながりを意識して、自己紹介ができる」を目指している。言語材料としては、be動詞や一般動詞、助動詞can等を既に学んでおり、表現できる幅が小学校の時と比較しても大きく広がった。自分が紹介したい話題に関してプラス1文以上で説明を付け加えたり、want to~を用いて自分のしたいことを伝えたり、以前は表現できなかった英文であっても小学校で学んできた表現や、中学校で新しく学んだ教科書の表現を用いればある程度表現したりすることはできる。本時の授業では、ALTのモデルスピーチを聞いて質問を考える、生徒同士でのやり取りを何度も繰り返し行うなど、複数のスピーチに触れ合う機会を多く設定した。生徒同士のやり取りを繰り返す中で、英語で相手のことに関連付けて話したり、質問することを通しての発話を促したりするにはどうすればよいかを考える場を多く設定していきたい。

#### (2) 生徒の実態

生徒たちは、小学校での外国語活動や外国語科の授業を通して、5文程度の自己紹介であれば即興で自分の伝えたい内容について話すことができる。しかし、聞き手に興味をもってもらうために内容を厳選したり質問したりすることはできていない。また、聞き手も話し手に対して反応したり質問したりすることはできていない。話し手にはスピーチ内容の厳選、聞き手には相手のスピーチに対し相づちをうったり質問したりすることで相手から情報を引き出したり相手に関心があることを伝えたりすることができることに気付かせたい。

### (3) 指導の構え

#### ・マッピングの活用

第1次では「自分と言えば」というテーマに関して、自分のオリジナリティや自分らしさを意識させ、そのことに関して道筋立ったマッピングを展開する学習が行われる。マッピングの手法を用いることによって、生徒は各キーワード間の関連の強さを視覚的に明確に把握できるだけでなく、自分の伝えたい内容や気持ちをまとめることができる。聞き手が分かりやすいスピーチの内容にするためには、話し手の情報の出し方が重要であり、前時の活動ではこの重要性に気付かせたい。

#### ・ループリックを活用した生徒による振り返り

本時では、生徒同士で自己紹介をしあった後に振り返りをする機会を設定している。振り返りの際にはループリックを活用させ、生徒同士がそれぞれの目指すべき姿を明確にし、主体的に学習に取り組ませたい。

### 3 「見方・考え方」を働かせ、「深い学び」を実現する授業づくり

#### 本題材が目指す「深い学び」の状態について

相手の自己紹介に関連付けて、自分のことを述べたり質問したりすることによって相手から必要な情報を聞き出し、やり取りを深めようとしている。

生徒たちは、学習指導要領の話すこと [やり取り] ア [日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。] を目標とし、話す目的や話す相手に応じて内容を吟味して意見を伝える活動をしている。

### 4 題材の目標

○相手の自己紹介を聞き、その内容に関連付けて質問したり自分のことについて述べたりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

### 5 全体計画 (全4時間)

- |     |  |           |
|-----|--|-----------|
| 第1次 | スピーチについて学び、マッピングシートを作成する。                                  | …………… 1時間 |
| 第2次 | ループリックでスピーチのポイントを押さえ、ペアで自己紹介をし合う。                          | ……… 1時間   |
| 第3次 | ペアでのやり取りを通して、自己紹介の話し方や相手が話した内容に関する質問のしかたを学び、自己紹介を修正する。(本時) | …………… 1時間 |
| 第4次 | ALTに自己紹介する。  | …………… 1時間 |

### 6 本時の学習 (全3/4時間)

#### (1) 指導目標

- ・自分自身のことや中学校生活の中であらびたいことを含めた内容の中から伝えたい内容を精選し、聞き手を興味をもつような自己紹介ができるようにする。(思考・判断・表現)

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>1 あいさつ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全体</span>(1)</p> <p>2 ALT の自己紹介スピーチを動画で見る。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全体</span>(7) (例 1) ALT: Hello, my name is Rosina. I'm from Italy. I like classical music, <i>enka</i>, <i>jidai-geki</i>, Japanese food and cooking. Anyway, tell me what you want to do in junior high school?</p> <p>3 ALT の自己紹介の内容を確認する。 T: What question do you want to ask Rosina <i>sensei</i>? S1: What music do you like? T: It's a good question. Any other ideas? S2: What Japanese food do you like? T: Nice. You can talk with her about your favorite Japanese food too.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と生徒とのやり取りがその後の生徒同士のやり取りとなるよう指導する。</li>   <li>・もう一度動画を流し、生徒が質問したいタイミングで止め、自分たちが考えた質問を言わせる。</li> </ul>
<p>ロゼッタ先生が知りたがっている情報を加えて自己紹介を改善しよう。</p>	
<p>4 目指す自己紹介のモデルを見る。 (例 2) S1: I'm~. I'm from Toyama city. I like sports very much. T: What sport do you like? S1: I like baseball very much. I'm a member of baseball team. S2: I see. What is your position? S1: Pitcher. I want to be a good pitcher in my team.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と代表生徒のモデルを見て、生徒たちが目指す自己紹介のモデルを示す。 <b>【目指すスピーチについて】</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【話し手】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手に質問を投げかけている。</li> <li>・好きなものについて紹介した後に、プラス 1 文以上で、それについて説明している。</li> <li>・ロゼッタ先生の聞きたいことに対する答えが含まれている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【聞き手】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話に相づちをうったり、反応している。</li> <li>・相手の話した内容に関して質問したり自分の考えを言ったりしている。</li> </ul> </div>

5 ペアになり互いの自己紹介を行う。  
ペア(6)

(例 3)

S1: I'm Takuya Nakagawa.  
I am in the kendo club now.  
S2: Do you practice kendo every day?  
S1: Yes, I do.  
I like it very much.  
It's very interesting.  
I want to be a good kendo player in  
my school life.  
So, I practice it every day.  
S2: I see.

6 指名されたペアが発表し、全体で表現を  
考え、共有する。全体(10)

7 横ペアで自分たちのスピーチを振り返  
る。ペア(3)

8 縦ペアになり互いの自己紹介を行う。  
ペア(6)

9 ペアで自分たちのスピーチを振り返る。  
ペア(3)

- スピーチを行う際は、相手に内容が伝わる  
ことが大切であり、多少文法的な誤りがあ  
っても気にしないよう助言する。
- ◇聞き手はスピーチの内容に関して言いたい  
ことはある場合、質問をはさんでよい。英  
語で表現できない生徒には“**You want to  
say ~, right?**”などと確認し、表現の手助  
けをしたり、疑問文をまとめたワークプリ  
ントを参照させ、既習の質問文を使って質  
問させる。
- 机間指導を行い、生徒がどこでつまずいて  
いるかを把握し、個別に支援する。また、  
ある生徒のつまずきが他の生徒にとって参  
考になる場合にはペア活動を止め、全体に  
問いかけて共有する。

ペアでのやり取りを通して、主体的に参加  
し、自分に必要な表現を取り入れようと  
している。(態度)【観察】

- ペアでのやり取りを全体でシェアリングす  
ることで、どのような内容をどのような表  
現を用いて発話しているかを全体で共有す  
る。

相手の自己紹介を聞き、その内容に関連付  
けて質問したり自分のことについて述べ  
たりすることができる。(思・判・表)【観  
察】

- ペアでの振り返りを通して、必要があれば  
スピーチの内容面・表現面ともにマッピン  
グに加筆・修正することを伝える。
- 振り返り分かった改善点を意識しながら、  
自己のスピーチを修正していく。

- 発表者の自己紹介を通して、必要があれば  
スピーチの内容面・表現面ともにマッピン  
グに加筆・修正することを伝える。
- 振り返り分かった改善点を意識させなが  
ら、自己のスピーチを修正させる。

<p>10 ななめペアになって、自己紹介を行う。 ペア(6)</p> <p>11 指名されたペアが発表する。全体(10) 全体で表現を考え、共有する。 (例 4) S1: I'm~. I'm from Toyama city. I like sports very much. S2: What sport do you like? S1: I like soccer very much. I'm a member of soccer team. My position is FW. S2: I see. Do you have any favorite soccer players? S1: My favorite player is Mr. Mitoma. He can play soccer very well. I want to be a soccer player like him.</p> <p>12 英語であいさつをする。(1)</p>	<p>・上記で修正した箇所に留意させながら発表させる。</p>
---	---------------------------------

#### 7 授業観察の視点

- ・本題材での目標にむけて、マッピングやルーブリックを活用した振り返りを行った今回の授業の流れは生徒の効果的であったか。